



燕島神社にて はいチーズ パシャッ！



「NAMIKI」ジェラート店先にて

青工PTA研修旅行 八戸～十和田の旅

「美味しいジェラートの味は、じぇいじぇいラート！」
毎年11月の第1土曜日に実施の研修旅行は、今年11月2日となり保護者12名と教職員5名の計17名の参加で開催された。
本校から大型バスで八戸へ向かい、燕島・三陸復興国立公園を經由し、昼食会場の「農園カフェ日々木」へ…
そこは、古民家の和モダンな雰囲気の中で、毎日限定40食の「農園かご盛りランチ」と手作りケーキを堪能した。帰り道では、ジェラート店で手作りジェラートを味わうことに。
秋晴れの中、すがすがしい景色と美味しい食事三昧のバス旅行となりました。



葦毛崎展望台にて



PTA活動の活性化に向けて

教頭 藤田 博巳

PTAは終戦後、学校の民主化を促進する手段としてGHQにより導入されたそうです。PTAの活動は、保護者と教員が学び合い、その成果を生徒に還元していくことを目的としています。
近年、共働き、ひとり親の家庭が多くなり、PTA活動に参加しにくい保護者が増えている状況を踏まえ、今年度は活動の活性化を図る方策の一つとして、五十嵐会長の発案により、広報委員会を組織して保護者会員の手作りによる広報誌を発行することになりました。

広報委員長となった中村伸吾さんを中心に、4月から委員の皆さんが土日を中心に何回も学校に参集して企画を練り、取材を重ねて完成したのが7月に発行したPTAだより第47号です。斬新なデザインと自由な発想による面白い記事が満載で、広報委員会の活発な活動の様子が伝わってきます。
今回の広報誌作成の取り組みを契機に、保護者会員からの発案で一人でも多くの人が参加できる堅苦しくない活動を増やしていくことが、PTA本来の役割を果たすことにつながるのではないかと思います。

編集後記

初めてのことでなかなか出来上がらない広報誌に、焦りとプレッシャーを感じながらもすてきな仲間達に恵まれた活動は、青工祭の取材を契機に、「この感動をみんなに届けたい！」と各自の広報魂に火が付きまして。学校行事の取材も手分けをして、写真・文章とそれぞれの得意な分野で作業を分担し、編集会議では自分の意見を相手に伝える大切な時間となりました。

親として子ども達の学校行事に関わるのは、高校生活で最後となります。取材を通して、子どもたちが、先生方がそして私達保護者が楽しめる環境がこの学校にはあることが十分わかりました。これからは広報誌という形で学校と家庭と地域をつないでいきたいと思ひます。取材にご協力いただきました皆さまに心から感謝致します。ありがとうございました。
広報委員会 委員長 中村 伸吾



青工高 PTAだより 2013

青森県立青森工業高等学校
〒039-3507 青森県青森市馬屋尻清水流204番1
TEL:017-737-3600 FAX:017-737-3601 URL: <http://www.tosei-w.asn.ed.jp/~th/>

第48号

- 平成25年12月12日発行
- 青森県立青森工業高等学校PTA広報委員会
TEL:017-737-0330
- 印刷所:長尾印刷(株)



青工祭2013「やきものがかりライブ!」 P2～3

青工ねぶたすごろく P4～5

- 文化部年間活動報告 写真部 放送部 ねぶた部 P6
- PTA活動についてのアンケート P7
- 校内PTA活動報告 P8
- 校外PTA活動報告 P9

PTA研修旅行 藤田教頭先生より 編集後記 P10



青工担ぎねぶた



天然の芝生が心地よい～青工PTA研修旅行にて～

広報委員の取材感想です

電気科展示を取材した際、3年生の受け答えがしっかりしていて、丁寧な説明とその対応に驚きました。(A・Y)

今年の青工祭、すみからすみまでのぞくことが出来ました。焼き芋・スペアリブ・・・等、沢山おいしい思いが出来ました。お姉さん・お兄さんのイカ焼きご苦労様でした。(T・H)



青工祭スローガン

future
未来へとつなぐ新たな1歩

文化祭大盛況

今年の青工文化祭は10月11日から13日の日程で開催され雨や強風などあり天気には恵まれませんでした、入場者は例年の倍以上の2000人ほどで大盛況でした。

クラス展示では学年別に展示場所が分けられ1学年、2学年が教室を使いそれぞれゲームやレクリエーション、模擬店を出店、3学年が中庭を使い、テントを張って模擬店を出店しました。この模擬店は「青工屋台村」と名付けられ、「味コン2013」のイベントでそれぞれの屋台の味を競いました。今年はR3模擬店のスペアリブが優勝しました。

各学科ごとの展示では、実習作品の展示販売や、研究成果の実演、など学科の特色が活かされていました。中でも、機械科のやきいも販売が人気で、焼き上がる時間には、行列ができるほどです。

第一体育館は、本校元教諭の三浦広先生遺作展、文化部作品の展示、クラスねぶたの展示が行われ、「青工ミュージアム」となりました。クラスねぶたというのは、全校で21クラスある学級ごとにねぶたを作成するもので、審査もあります。テーマは自由で最近はやりの「ゆるキャラ」を作成するクラスが多くみられました。審査は本校卒業生のねぶた師立田龍宝先生、ミスねぶた佐々木柚花さんらが担当しました。

中庭ステージでは、吹奏楽部ミニコンサート、フリーパフォーマンスなどのイベントが行われ、文化祭を盛り上げていました。

PTA会長 五十嵐愛一郎

PTA模擬店・展示



藤田教頭先生



おいしく焼けますように



佐藤校長先生



みなさんお買上げありがとうございます



いっぱい欲しい!!



出来上がったなら何入れる?



いか焼き、ミディアム1枚250円也!!



佐々木事務長



PTA展示室にて、買ったものを持ちってワイワイ



工業クラブ制作班の会場ではロボコンで使用したロボットを、小学生に優しく操作方法を教えていたのが、微笑ましかったです。(S・A)

学校での様子が普段分から

生徒の感想 青工祭実行委員長 豊島淳矢(M3)

今年の文化祭を終えて、実行委員長としては予定どおりいかないことも多く大変でしたが、準備や本番中、校内を見て周ると全校生徒がとても楽しそうに活動をしていたのでよかったと思います。来年も力を合わせて楽しい青工祭を盛り上げてほしいと思います。

先生の感想 生徒指導部 工藤啓太

悪天候にもかかわらず、2日間合計で2千名近くの来場者を迎えることができました。新校舎に移転して3年目、まだ定着していない部分が多々あり、試行錯誤を繰り返しながらの文化祭です。PTAの皆様には、ぜひ来年度以降も「イカ焼き」を継続し、文化祭の活性化に力添えいただきますようよろしくお願いいたします。

青工ミュージアム 第一体育館



写真部のみんなだより



元青工教諭三浦広先生遺作展



華道部 渾身の作品



負けたナッシー プシュアー

展示・販売



デジカメでカシャ
すぐ出来るオリジナルカレンダー



ストラップ



いも焼き20年以上!



焼きたて、ほかほか

中庭・ステージ



強風の中の吹奏楽部



キャー助けてーBMX



上手に焼けたかな?棒パン



味コン審査員

ないので、とても貴重な体験でした。笑顔で取材に協力してくれたり、行き先を案内してくれて、生徒中心で盛り上げ、それぞれイキイキしていたように感じました。(M・T)

青工ねぶたすごろく

全員集合



腹筋20回

ラッセラーと大声で
叫ぶ! 跳ねる!



腕立て20回

青工ねぶた インフォメーション

8月2日～4日の3日間、青森ねぶた祭りの一環として、本校生徒によるねぶた運行が行われた。初日は3年生が担当、2日目は2年生で最終日は1年生が締めくくる形となりました。ねぶた部制作の人形ねぶた2台を、生徒たちが交替で担ぐもので本校の恒例行事となっています。期間中生徒たちは制服で教育会館に集合、担ぎ手の生徒は半纏で、跳入の生徒はねぶたの衣装を着ての参加となっています。※毎年の行事ですが、衣装の着付けでは人手が足りない状況です。保護者の皆様、ご協力よろしくお願い致します。

囃子方



六つ戻る



完全燃焼! 疲れた



ねぶた部作成風景

スタート



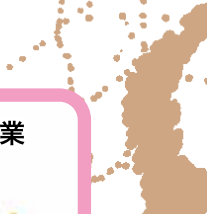
さあトラックに積込んで
学校を出発、倉庫へ搬出です!

搬出



ねぶた部の力仕事、この作業
でねぶたが完成となります!

台上げ



おまけ、津軽のもつけ

一回休



サイコロを



振り出しに戻る



ただいま着付中!
なんだが、めげせなあ〜



振り出した数戻る

二つ戻る



文化部年間活動報告

全国高等学校総合文化祭・写真部門優秀賞受賞

【写真部】

長崎県で8月に開催された全国高総文祭において、本校機械科3年写真部、船橋大地君の作品「アゲハへの道のり」が写真部門で優秀賞を受賞しました。

自宅の庭で、菜の花を這い上がる幼虫を偶然見つけ、デジタルカメラで魚眼モードに設定して撮影しました。受賞のお知らせを聞いた時「現実味が無かった」と照れくさそうに話していました。



【放送部】

山形県で9月に開催された、第6回山形大学高校生朗読コンクールにおいて、本校情報技術科3年放送部、豊川実沙樹さんが「銀河鉄道の夜」を題材にリレー方式で朗読し、みごと第3位に入賞しました。

最後の大会なので、刺激物を口にしないように気を使いかなり力を入れました。「自然に楽しく朗読できたし、みんなが協力してくれたおかげです」と話していました。



部活掲示板

部員数及び構成・・・15名のうち女子が3年に1名、1年に3名ほか男子11名。

(Q)

今年のねぶた制作で特に難しかった点は？

(A)

創部21年目で初めて「獅子」を題材としたので(前例が無く作成に苦労した)制作に時間がかかり大変だった・・・制作日数約4ヶ月

(Q)

どうして今年は「獅子」を題材にしたのでしょうか？

(A)

学校近くの宮田地区では地域で獅子舞が盛んで、地元の子供達によって継承されている。400年ほど前この地域を洪水が襲ったが、津軽信政が祈禱してこれを納めたと伝えられている。地域の歴史を知るきっかけになればと、この題材にした。

(ねぶた部についてアピールしてください)

ねぶた部はねぶたの作成はもちろん、運行中は囃子方として祭りを盛上げる裏方に徹します。制作活動と並行して部屋の外では、各パートに分かれ午後4時～5時頃まで先輩が後輩に囃子の指導をしますが、これが案外つらいものがあります。年に一度、沢山の方々に見ていただけるので、とってもやりがいのある部活です。

ねぶた部 部長 電子科3年 田中孝征



創部21年目
初めての題材「獅子」
ねぶた部
11月22日 日直

アンケート
結果報告

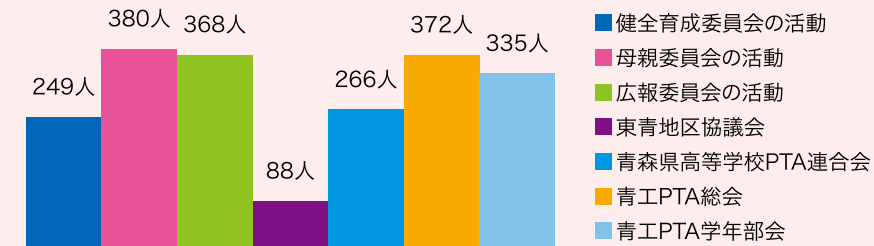
先日実施しましたアンケートの結果です。

回収率は1学年79.6%、2学年88.4%、3学年63.1%

全体平均79.4%でした。皆様、ご協力ありがとうございました。

PTA活動について

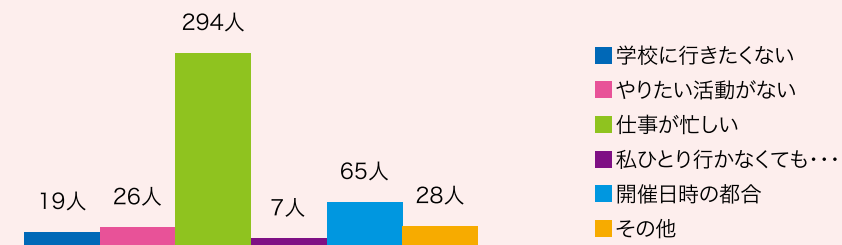
Q1 青工PTA活動について知っていることに○をつけてください(複数回答可)



Q2 PTA活動について興味ありますか？

ある 133人 (24%) ない 421人 (76%)

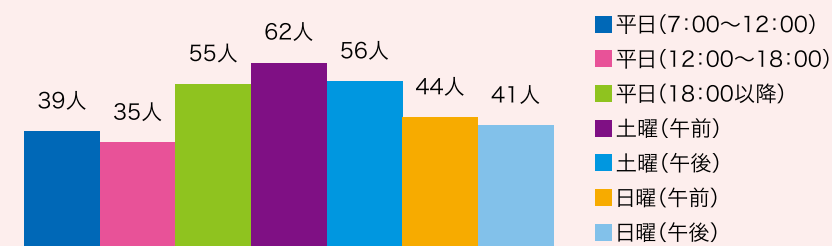
Q3 興味がわかない理由に○をつけてください。



その他の理由

知り合いがいない 体調が悪い・親の介護
遠方の為・公共交通機関が不便 小さい子供がいる...等
大変そうなイメージ

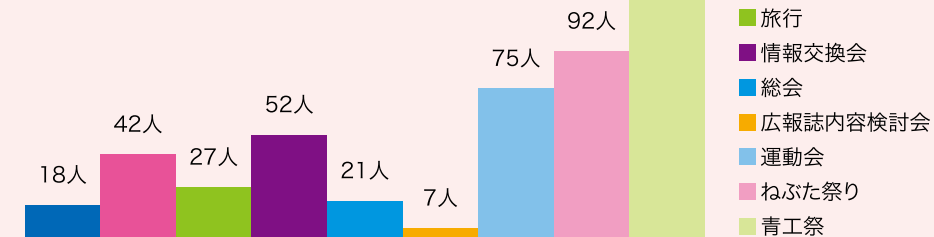
Q4 PTA活動に参加するにはどのような時間帯を希望しますか？(複数回答可)



その他の理由

仕事の不規則な為決められない 年間行事に活動日程を確実に入れてくれれば
シフト制の仕事の為2ヵ月位前に知りたい 参加したくても休日と活動日が合わない
仕事の休みの日なら・・・ 1ヵ月以上前の予定なら可能

Q5 参加したいと思うPTA活動に○をつけてください。(複数回答可)

組織や活動について認識
不足の傾向！～PTA活動に関するアンケート
について～

本年9月に行われた、PTA活動についてのアンケート調査の結果について報告いたします。まず第一にアンケートにご協力いただいた保護者の数が、予想を上回り大変感謝いたします。2学年においては88.4%とほとんどの方にお答えいただいております。来年の活動に期待が持てる結果となりました。

内容については、PTA活動に興味がないと答えた保護者が76%にもおよびその理由の大半が仕事が忙しいことと開催日時の都合でした。

希望の活動時間帯を聞くと、平日の夜、および土曜日と答えた方が多数いました。Q5の参加したいと思うPTA活動については、青工祭、ねぶた祭り、運動会と学校行事に関するものが圧倒的多数で、我が子を見ながら、一緒に活動できるものへの関心が高いことがわかります。

総じて、学校行事以外のPTA活動については関心が低く、活動の内容も重要性も認識されていないことが明らかになり、活動の実態をわかりやすく伝える広報の充実がますます必要とされる結果になりました。

PTA 会長 五十嵐愛一郎

『今年度の母親教室を終えて』



母親委員会 委員長 蛭名 一美

9月14日、第3回母親教室を行いました。10名の参加者で紙テープを使って同じ大きさのカゴを2つ作る作業をしました。初めての方は1つ作るのに悪戦苦闘していましたが2つ目からは周りを見て隣と話をしたり、アドバイスをしたりとリラックスできるような雰囲気になり、そこで、今回の経験を生かして青工祭で再度、カゴ作り教室を開くことにしました。

青工祭の2日間は、これまでの作品が展示されている教室でコーヒーの香りが漂う中、一般の方々延べ20名程と楽しくおしゃべりを楽しんでいました。

母親教室では作品を作るだけでなく、人と係わることでちょっとした学びや気づきがあったりしますので、ぜひ機会がありましたらPTAの行事に参加してみてください。きっと良い経験になります。



『PTA模擬店「いか焼き」大好評!』

本校PTAとして初めて、青工祭模擬店で「いか焼き」を実施しました。経験者も無い中で手探りの状態でしたが、販売のお手伝いには延べ35名の保護者が参加して、炭火で焼いたイカをカットして1パック250円で販売しました。「買ってくれるのか?」という不安な思いも、おいしそうな匂いが立ち込めると行列が出来る盛況ぶり・・・1日目で150杯程が売れ、2日目はイカを追加補充したにもかかわらず午前中に在庫がつき、見事完売となりました。

期間中の売上金は61,590円となり、県PTA連合会を通して東日本大震災の義援金として全額寄付しました。来年もぜひ行いたいと思います。



『保護者参加型模擬面接会の実施』

就職求人シーズン間近の9月7日、本校教室にて進路指導部主催の模擬面接会開催にあたり、保護者が面接員として協力するという形で実施されました。

生徒たちに本番の緊張感を体験してもらおうということで、本校として初めての試みでしたが、3年生の生徒102名が参加。7名の保護者が協力しました。「普段と違った雰囲気にとっても緊張した」「いいアドバイスをもらえてよかった」「集団面接で自分以外の生徒の話が聞けて参考になった」などの感想があり、有



意義なものになりました。

第63回全国高等学校PTA連合大会
山口大会

全国から1万人の参加者が集う今大会は、会場を7会場に分散して開催され、8月22日の当日、本校PTAからの4名は第4分科会での参加となりました。開会式と基調講演は、その様子がメイン会場から各会場スクリーンへ中継され、臨場感を味わうことが出来ました。

第4分科会のテーマは「家庭教育とPTA」～人材づくりとコミュニティ～記念講演の後、4地区の事例発表が行われ、今後のPTA活動の参考にしたいと思いました。

参加者：PTA五十嵐会長、山崎副会長、渉外部今先生、松井先生



広報誌づくり研修会

9月3日 青森総合社会教育センターにて午後1時10分～県高P連が主催する、初めての広報関連研修会には県内各地区より106名の参加者が集まり開催。昨年度県高P連広報誌コンクール最優秀賞受賞校である、南部工業高校の広報委員長より同校の取組を説明、所々に多くのヒントを散りばめた発表はとても刺激となった。その後、新聞社編集局員による講演では、事前に各校から回収したアンケート結果をもとにプロの技を伝授、いただいた資料は本校PTA広報委員会の宝物として、これから活用していきたい。

参加者：五十嵐PTA会長、中村広報委員長、西田広報委員



第1回 単位PTA会長会議

9月27日 弘前パークホテルにて午後1時半～午後5時まで県内高等学校PTA会長と渉外主任の計120名が一堂に会し、それぞれの活動の成果と今後の課題を認識整理することを目的に開催された。

分科会において、各校PTA活動についての紹介・特色あるPTA活動・保護者の活動参加におけるアイデア等について、テーブルごとに活発な話し合いがなされた。

各校の活動紹介から・・・運動会参加の保護者にPTAから弁当を出している。レクリエーション委員会の主導でボーリング大会・スポーツ大会・研修旅行等開催している。PTA規約を変更して、途中から役員を追加できるように工夫。通学指導時はそろいのジャン

パーを着用。意見発表では、会長は各委員長をサポートして、参加しやすい企画を一緒に考えて行く必要ある等の意見が出された。

参加者：森PTA副会長、中村広報委員長、渉外部今先生



平成25年度進路指導シンポジウム

10月15日 県総合社会教育センターにて午後1時～午後3時半まで県内高等学校PTA会長と渉外主任および進路対策委員長の計140名が参加。家庭におけるキャリア教育の推進をテーマに開催され、活発な意見交換がなされた。

参加者：中村広報委員長、牧野、木立、大高、西田
渉外部今先生

平成25年度健全育成研修会

11月1日 アップルパレス青森にて午後1時～午後5時まで県内高等学校PTA会長と渉外主任および健全育成委員長の計150名が参加。いじめ根絶セミナーと題して、インターネットが発端となるいじめ防止策について意見を交わした。

参加者：五十嵐会長、西田、大高、渉外部今先生